

# 第99回 総 会

日 時 平成20年5月16日(金) 15時～  
場 所 メルパルクNAGOYA  
名古屋市東区葵3-16-16  
TEL 052-937-3535 (代)  
FAX 052-937-3673

中部電気工事協力会連合会

# 総 会 次 第

開 会 の こ と ば

会 長 あ い さ つ

顧 問 あ い さ つ

## 議 案 審 議

〔1〕 会員数の変動	2		
〔2〕 役員の変動報告	3		
〔3〕 平成19年度事業報告承認の件			
本部事業報告	4		
各県協力会事業報告および持株会報告	6	}	
〔4〕 平成19年度収支決算報告承認の件	7		(省略)
〔5〕 平成19年度会計監査報告	9	}	
〔6〕 平成20年度事業計画（案）承認の件			
本部事業計画（案）	10		
各県協力会事業計画（案）	12		
〔7〕 平成20年度収支予算（案）承認の件	13	}	
〔8〕 平成20年度会費分担金（案）承認の件	15		(省略)
〔9〕 平成20年度教育資金交付金（案）承認の件	16		
〔10〕 平成20年度小規模工事交付金（案）承認の件	16		
優良技能電気工事店表彰	17		

閉 会 の こ と ば

## 【3】平成19年度事業報告承認の件（本部事業）

### 1. 安全管理の推進

#### 安全管理基本計画に基づく安全管理の徹底

平成19年度安全管理基本計画に基づき、各県協力会において具体的な施策を推進した。

#### 基本計画

- ◆重大災害につながる墜落・転落・感電災害を撲滅  
「安全作業必携」に基づく基本に忠実な作業の推進を図った。
- ◆再発防止策等の水平展開による同種災害を撲滅  
連合会大で作成した安全パトロール票の定着を図った。
- ◆安全意識の高揚  
安全パトロール等を通じたディスカッションの効果的展開を図った。

#### 最重点実施項目

- ◆基本に忠実な作業の推進  
基本的事項の遵守を徹底するため、現場状況に応じた的確な指示、助言に努めた。  
特に、重大災害につながる墜落・転落・感電災害に関する諸施策については、平成18年度に引き続き積極的に展開した。
- ◆ディスカッションの効果的展開および指摘事項の継続フォロー  
安全パトロール等の指摘事項については、その都度、ディスカッションし、不安全行為を誘発する要因まで掘り下げるなど、実行ある対策の確立に努めた。

#### 特記事項

- ◆安全パトロールの計画的実施  
安全管理基本計画の具体的実施内容の定着状況を確認するため、現場パトロールを実施したが、各県の実施回数にバラツキがあったため、次年度以降は目標値を設けることとした。
- ◆安全パトロールの指摘事項の定量把握・分析  
パトロール時における指摘事項の定量把握・分析結果から、補助フック未使用などの「知っていても守らない」といった不安全行為が確認された。これらの不安全行為については、その背景まで掘り下げるとともに、実効ある施策の確立を目指すこととした。

#### <災害発生状況>

平成20年3月5日【墜落死亡】

：防犯灯工事（共架）時に電柱から墜落（補助フック未使用）

平成19年9月1日【墜落負傷】

：引込小柱撤去時にバランスを崩し梯子から転倒（安全帯未着用・梯子固定未実施）

## 2. 優良工事の推

### 優良技能電気工事店の表彰

優良な電気工事推進の模範とするため、安全・技能等に優れた優良技能電気工事店12店を選定し、表彰を行った。

## 3. 技能・技術の練

### 技能オリンピック大会の開催

平成19年11月14日（水）中部電力人材開発センターにおいて、各県協力を勝ち抜いた代表12チームの参加もと、第29回引込および内線工事技能オリンピック大会を開催し、日頃練磨した電気工事の実技と学科を競った。

競技の結果、入賞は次のチームに決定した。

【総合入賞】	優勝：長野県Bチーム 準優勝：長野県Aチーム、愛知県東部Bチーム 第3位：静岡県Aチーム、静岡県Bチーム、愛知県名古屋Bチーム
【実技賞】	第1位：長野県Bチーム、第2位：愛知県東部Bチーム、第3位：長野県Aチーム
【安全賞】	第1位：長野県Bチーム、第2位：岐阜県Bチーム、第3位：愛知県名古屋Bチーム
【学科賞】	第1位：柿木直樹（長野A） 第2位：高沖昭彦（長野B）、第3位：向山直樹（長野A） 第4位：太田俊広（長野B）、第5位：小川素弘（岐阜B）
（個人賞）	（敬称略）

## 4. 災害復旧広域応援訓練の実

昨年度に引き続き、平成19年11月29日（木）、三重支店管内の大規模な地震災害を想定し、各県協力が参加して災害復旧広域応援の情報伝達訓練を実施した。

## 5. 電気工事品質向上対策の推

平成18年度4月に本格導入した施工証明制度の発行率の向上を図るため、早期切り替えについて積極的にPRを行うとともに、新電気使用申込書を配布した。

また、電気工事品質向上検討委員会の依頼に基づき、安全技術委員会において「不適合工事の実態把握」及び「不適合工事抑制策（接地工事の適正化）」の検討を行った。

## 6. 電気工事協力会の組織見直

電気工事協力会の組織見直しについて、静岡県、三重県及び長野県協力会で構成する「協力会の組織見直し試行県検討会」において、試行の実施に向けた検討を進めてきた。その結果、平成20年1月21日の理事会において、「平成21年度から引込工事センター（仮称）の試行を実施し、必要に応じて計画の見直しを行う」ことが承認された。

## 【6】平成20年度事業計画（案）承認の件（本部事業）

### 1. 安全管理の推進

平成20年度「安全管理基本計画」に基づき、各県協力会において具体的な施策を推進し作業災害・公衆災害の防止に努める。

#### 基本計画

- 「安全作業必携」に基づく基本に忠実な作業の推進を図り、墜落・転落・感電災害および公衆災害を撲滅する。
- 再発防止策等の水平展開を図るため、連合会大で作成した安全パトロール票の定着と指摘事項の定量的把握を図り、同種災害を撲滅する。
- 安全パトロール等を通じたディスカッションの効果的展開により、安全意識の高揚に努める。

#### 実施項目

##### ◆基本に忠実な作業の推進

「安全作業必携」等に定められた基本的事項の遵守を徹底するため、店主・作業責任者は、現場状況に応じた的確な指示、助言に努める。

特に、重大災害につながる墜落・転落・感電災害に関する諸施策については、昇降柱訓練等の機会を捉えた基本事項の再徹底などにより、引き続き積極的に展開していく。

##### ◆連合会大の安全パトロール票の定着

県・支部での安全パトロールは連合会大で作成した安全パトロール票の定着を図るとともに、同種災害の撲滅のため、支部・県・連合会大での再発防止策等の水平展開を図る。

##### ◆ディスカッションの効果的展開とパトロール指摘事項の定量的把握および継続フォロー

安全パトロール等による指摘事項については、その都度、作業従事者とディスカッションし、不安全行為を誘発する要因まで掘り下げると共に、指摘事項については、定量的把握による傾向分析および継続フォローにより定着状況を確認する。

## 具体的実施内容

- 『墜落・感電災害に直結する行為』・『公衆災害』に重点をおいた安全パトロールの計画的実施と指摘事項の定量的な把握と評価・フォローを展開
- 引込線工事作業従事者の昇降柱訓練の確実な受講（1回以上／毎年）ならびに訓練の機会を捉えた『基本事項』の再徹底
- 連合会大の安全パトロール票（定着度合いの確認）の定着と指摘事項の定量把握

## 2. 優良工事の推進

優良な電気工事推進の模範とするため、安全・技能等に優れた優良技能電気工事店14店を選定し、表彰を行う。

## 3. 災害復旧広域応援訓練の実

連合会および各県において引き続き体制整備を進めるとともに、災害復旧訓練を行う。

## 4. 電気工事品質向上対策の推

施工証明制度の定着を図るため、引き続き施工証明書の発行率の向上に取り組む。  
また、電気工事品質向上検討委員会の依頼に基づき、「接地工事に関する不適合工事抑制策に関する啓発活動等の展開」について、安全技術委員会において継続して検討を行う。

## 5. 電気工事協力会の組織見直

電気工事協力会の組織見直しに係る試行県（静岡県、三重県及び長野県協力会）は、平成21年度試行実施に向けて、引込工事センター（仮称）の組織体制、事業内容および組織形態の詳細な検討を行い、本年度、試行各県それぞれ1～2支部において、同センター組織（合同会社等）を設立する。